

【アイデア部門】

入選 松井 利樹

番組モニター

生まれつき目が見えないのでラジオを情報源の意味合いで聴くのが習慣になっていて、告知する宣伝名目のcmで番組モニター募集の旨の原稿が代読されます。

指定された番組を聴いてレポートを送るお仕事なので全盲の人の場合でも点字が読み書きできなかつたり苦手な人の場合でも、ITの操作に慣れていてメールやデータファイルを扱うのに慣れている人の場合は責任を持ってできると思うし、自分も可能な場合は応募してみようと思って動いてみましたが、応募用件はホームページからダウンロードしてきたファイルを印刷した後で用紙に必要事項を書いて郵送するのが型になる決まりになってしまっているようで誰かの目を借りられない場合は手が出せない状況です。

ホームページに設置されているリンク先の問い合わせフォームから上に書いた状態をメールで要件の緩和をお願いする書き方で訴えてみたのですが、誰かの目を借りて代わりに型になっている要件を満たして欲しいという趣旨の返信をお詫び名目で一方的に返されてご了承くださいと押されてしまったので応募を断念して諦めました。

審査員コメント

日々の生活の大事な視点だと感じました。視覚障害者の方に対する配慮をどこまで考えるかという発想もありますが、視覚障害者が使いやすいのであれば、私たちも使いやすいのではないのでしょうか。

松井 利樹

未熟児網膜症を患っている状態で生まれて、盲学校に入学して義務教育と専門教育を受講して終了した後は、治療院に就職して開業するのに必須なノーハウを働きながら学んで独立して自宅で開業して年中無休で磨いた腕を武器に健康で働けていましたが、健康ではないので休職中です。